

2026年4月17日
商工中金

地域金融機関と協調し、プラスチックめっき加工を手掛ける
平和工業株式会社に対し、総額5億5,000万円のシンジケートローンを組成

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の京浜島出張所は、平和工業株式会社（本社：東京都大田区、代表者：内藤 喜達）に対し、総額5億5,000万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、共立信用組合（※1）、日本政策金融公庫が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

※1 2025年12月、商工中金と共立信用組合は、「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」を締結しています。なお、本件は同覚書に基づくシンジケートローンの1号案件です。

同社は、プラスチックめっきを中心とした表面処理加工を手掛ける企業です。装飾性や耐久性、機能性を付加する表面処理技術を強みに、自動車部品や家電部品など、外観品質と耐久性が求められる分野で事業を展開しています。

今回、同社は、本シンジケートローンにより調達した資金を活用して、長短借入金のバランスを是正することにより、営業キャッシュフローと財務キャッシュフローのミスマッチを解消するとともに、将来の積極的な事業展開に向けて、一層の経営基盤の強化に取り組みます。

商工中金は、現地訪問や経営者等へのヒアリングを通じた事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。同社の企業価値向上には、既存債務のリストラクチャリングが必要と考え、地域金融機関と協調して本融資契約を締結しました。なお、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に則り無保証で対応するなど、金融機関の支援体制強化に貢献しています。

商工中金は、地域金融機関と連携してお取引先の課題解決に繋がる財務構造改革及び本業支援を行うことで、中小企業の企業価値向上を図り、地域経済の発展に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	5億5,000万円 ～コミットメントライン タームローン	2億5,000万円 3億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金	3億5,000万円
参加金融機関	共立信用組合、日本政策金融公庫	各1億円
契約締結日	2026年3月18日	

【平和工業株式会社の概要】

所在地	東京都大田区京浜島2-2-4	資本金	100万円
代表者	内藤 喜達	従業員数	37名(2026年3月時点)
業 種	プラスチックめっき加工業	設 立	2023年1月